

《試合中における審判・ルール》

- ①団体戦は対戦校でSCUを出し合う。トスで2本(3本)のSCUか、1本(2本)かを選択する。副審はつけない。ただし、決勝についてはベスト8のチームよりSCUを選出する。
- ②個人戦は敗者SCUとする。(シングルスもダブルスも副審をつけない)。
 - ・敗者SCUの制度で大会が成立している以上、どんな理由があろうと審判を威圧脅迫したり誹謗中傷をした場合は、その選手は、ある期間高体連の大会に出場できなくなる可能性がある。また、試合に出場できる資格は、審判ができることである。審判の養成は各校が高体連テニス専門部に加盟する義務である。
- ③団体戦は、1対戦ごとに勝者が試合結果を本部に報告する。また試合終了後、敗者チームがブラシ掛け、スコアボードをリセットする。
- ④個人戦は、試合終了後、勝者と審判がともに本部で結果報告をして試合成立となる。
- ⑤個人戦で、当該試合の敗者校はコートに残り、次の選手が来るまでにブラシ掛けをする。
- ⑥選手は、ジャッジの発声とジェスチャーをする。
- ⑦ベンチコーチは審判の判定に抗議することはできない。
- ⑧その他公平でない審判・ベンチ・応援が認められた場合、至急本部またはロービングに連絡する。
- ⑨代表決定戦にはコートレフェリーが入る。

★⑩隣のコートからボールが入ってきた場合は、審判はすぐにレットをかける。

※ 高体連の試合はロービングが巡回している。したがって、そこからの注意がない限りは正しく試合が動いていると専門委員は認識している。何かあった場合は、まずはロービングに連絡すること。

《団体戦・個人戦の応援について》

- ①声出し応援を認める。
- ②1面全体を当該校1つで占拠することは禁止する。
- ③その場でジャンプしたり、フェンスに触れたりしないこと。
- ④些細なことでも、選手・審判・ボールパーソンに直接プレッシャーを掛けるような声掛けが認められた場合、当該試合の当該高校は応援を禁止とする。
- ⑤コート側の側面からの応援は禁止とする。
- ⑥部旗等はコートの後ろには付けず、試合中に目に入らないところに付けることとする。

《大会中のルール・マナー》

- ①団体戦開始の挨拶の時は、監督の先生が登録選手全員を整理させて、選手の紹介をする(テニスシューズ着用)。
- ②団体戦の時、監督は相手選手や審判にプレッシャーを与えるような言動をしない。
- ③団体戦のチェンジコート以外のコーチングは禁止する。
※保護者等のコーチングが見つかり次第、コーチングした当事者は退場となる。また、コーチングを受けた選手は失格になる可能性がある。
- ④クラブハウスは使用禁止(トイレ・自動販売機の使用のみ可)。
- ⑤会場内すべての場所で、ボールを使った練習は厳禁。
- ⑥加工した髪・ピアス等は出場を認めない(出場を辞退させる場合もある)。
- ⑦携帯電話等はコートに持ち込まない。持ち込む場合は電源をオフにする。また、会場内で着信音は鳴らさない。
- ⑧その他マナーを逸脱する行為が行われた場合は、学校の責任として厳重に処分する。
- ⑨ボールパーソンは、華美でない服装でコートにはいる。
- ⑩大会期間中の携帯電話の使用は控える。
- ⑪ある種目において、棄権、あるいはリタイアした場合、選手は同じ日でも他の種目に出場できる。

直前打ち合わせ

《石川県高校総体テニス競技について》

- 1)日時：令和5年6月1日(木)～4日(日) 8:00～ 予備日 6月5日(月)
- 2)場所：【女子】小松運動公園末広テニスコート
【男子】城北市民テニスコート 辰口丘陵公園テニスコート

3)日程：6月 1日(木) 男女団体(決勝まで行う)

5月26日

2日(金) 男女団体(残り) 男女シングルス(準決勝まで行う)

3日(土) 男女シングルス(残り) 男女ダブルス(ベスト8決定まで行う)

4日(日) 男女ダブルス(残り)

*1セットマッチ(6-6タイブレイク方式)で試合を行うが、団体戦と個人ダブルスにおいては決勝を、個人シングルスにおいては準決勝から8ゲームズプロセットマッチとする。

【6月1日(木)男女のタイムスケジュール】

7:00~開場*コートを取って練習してはいけない

7:30専門委員集合

7:40~8:00専門委員会

7:45午前当番校集合 6/1=男子:金沢桜丘 女子:小松

8:00~8:15受付

8:00~8:40公式練習 20分2交代

8:15~顧問会議

8:45団体オーダー提出

8:50開会式

開会式終了後ファーストコール

ファーストコール10分後試合開始

16:45最終コール(予定)

17:30終了(予定)

【6月2日・3日男子のタイムスケジュール】

7:00~開場*コートを取って練習してはいけない

7:30専門委員集合

7:40~8:00専門委員会

7:45午前当番校集合 6/2=男子:金市工

6/3=男子:星稜

8:00~8:15受付

8:00~9:00公式練習 20分3交代・15分4交代

8:15~顧問会議

【6月2日男子】

9:05団体オーダー提出

顧問会議後各校で選手ミーティング

9:10ファーストコール

9:20試合開始

【6月3日男子】

9:10表彰式

表彰式終了後ファーストコール

ファーストコール10分後試合開始

【6月2日・3日男子】

16:45最終コール(予定)

17:30終了(予定)

午後当番校 6/2=男子:金沢二水

6/3=男子:金沢西

【6月2日・3日女子のタイムスケジュール】

7:00~開場*コートを取って練習してはいけない

7:30専門委員集合

7:40~8:00専門委員会

7:45 午前当番校集合 6/2=女子:小松明峰
6/3=女子:野々市明倫

8:00~8:15 受付

【6月2日女子】

8:00~8:40 公式練習 20分2交代

8:15~顧問会議

8:50 表彰式

表彰式終了後ファーストコール

ファーストコール10分後試合開始

【6月3日女子】

顧問会議後各校で選手ミーティング

8:00~9:00 公式練習 20分3交代

8:15~顧問会議

9:10 ファーストコール

9:20 試合開始

【6月2日・3日女子】

16:45 最終コール (予定)

17:30 終了 (予定)

午後当番校 6/2=女子:金沢二水

6/3=女子:金沢商業

【6月4日のタイムスケジュール】

6月3日に連絡

4) 審判: ソロチェアアンパイア制度とする。(トラブルが生じないようご指導をお願いします。)

※ロービングアンパイア 高体連テニス専門部

5) 雨天決行。選手は着替えの準備をするようにご指導下さい。

6) ボールパーソン シングルス:各校2名 ダブルス:各校1名(原則)

7) マナー *声出し応援を認める。

*コーチングは禁止である。

8) コート当番校(午前当番校 7:45~12:30, 午後当番校 12:30~終日)

*7:45に本部前に集合して下さい。

9) 個人戦のシードの決定と抽選

シングルス16シード、ダブルス8シードで、3・4シード、5~8シード(シングルスとダブルス)、9~12シード、13~16シード(シングルス)は抽選

10) 団体戦のシードは8校(ベスト8によるフィードインコンソレーションを行う。)

*決勝については北信越大会第3代表決定戦の1ラウンド敗者校よりSCUを選出する。

*団体の順位についてはメインドローを優先させ、あくまで順位決定戦ではなく北信越代表決定戦とする。

*表彰は代表決定戦による3位校に対しても行う。

11) 公式練習 別紙参照

12) その他

・1試合もせずにベスト16に進出する選手(組)が出た場合には、リドローをする

・ヒートルールとレストタイムのマニュアル化について【ベスト16以上】

	シングルス	ダブルス
45分未満の試合	レスト20分	レスト20分
45分~60分の試合	レスト25分	レスト25分
60分以上の試合	レスト30分	レスト30分

*ヒートルール:1時間30分を越えた場合、その直後の偶数ゲームにおいて10分間の休憩

競技方法

団体の部

- (1)各高等学校について男女各1チームとする。
- (2)ダブルス1ポイント、シングルス2ポイントの対抗トーナメント式とする。1セットタイブレークマッチ（6ゲームオール後タイブレーク）とするが、決勝戦は8ゲームスプロセットとする。
- (3)シングルスの実力順位で No. 1 から No. 5 まで5人の選手を登録する。ダブルスのポイントは、5人の中から適当に1組を作る。シングルスのポイントは残りの3人中のどの2人が出場してもよいが、専門委員会で別途定めたポイントランキングの順位にしたがって、オーダーを提出する。オーダーの順を間違った場合は、そのチームは失格とする。
- (4)ベスト8以上の学校でフィードインコンソレーションを行い、北信越第3代表までを決定する。

個人の部

- (1)男女シングルス、ダブルスともトーナメント式とする。
- (2)1セットマッチ セットブレーク方式とするが、シングルスは準決勝から、ダブルスは決勝を8ゲームスプロセットとする。
- (3)シングルスは、インターハイ代表決定戦を実施する。

競技上の注意

- (1) 小雨決行。試合の有無、日程の変更等は必ず本部（会場）で確認すること。
- (2) 試合前の練習は、サービス（一人が左右2本ずつ）のみとする。
- (3) ファーストサービスは、セカンドサービス用のボールを身につけて行うこと。
- (4) 団体戦では、試合の始めと終わりに両方のチームのメンバー（5名）および監督はサービスラインに沿って整列し、礼儀正しく挨拶を行うこと。
- (5) 体力消耗、痙攣等による試合中断は認めない。事故等による中断は、レフェリーの判断による。
- (6) 選手の服装はテニスウェアとし、全国高体連服装規定に基づく。
- (7) ボールパーソンは、シングルス各校2名、ダブルス各校1名置くことを原則とする。
- (8) 選手は、試合中コートを離れてはならない。
- (9) 今大会はMTO（メディカルタイムアウト）は適用しない。選手の健康と安全に対して万全を期すため、「メディカルタイムアウトに関する基本的な考え方」に準じて対応する。
 - ・監督は、選手の体調管理に責任を持って対処する。
 - ・無理をさせず、選手の将来を考慮してレフェリーがリタイアを促す。
- (10) 団体戦では、各校の初戦はすべての対戦を行う。それ以外の試合は2ポイント先取とする。試合の途中であっても2ポイント先取が成立した時点でポイント打ち切りとする。

- (11) マナーを正しくすること。
- ・ ファーストサーブとセカンドサーブの間は静粛にすること。
 - ・ コーチングは厳禁である。*見つかれば次第、該当者は退場。コーチングを受けた選手は失格とする。
 - ・ ベンチコーチは審判の判定に抗議することはできない。
 - ・ 携帯電話等はコートに持ち込まないか、または電源を切ること。
 - ・ 応援について
 - ① 団体戦については、最初の試合が始まるまでは歌による応援を認める。
 - ② 声出し応援を認めるが、当該コートの応援のみとする。つまり応援として立っている場所のコート後方から隣のコートの応援は禁止である。
 - ③ その場でジャンプや、フェンスを揺らしたりするような応援は禁止である。フェンスに触れることも禁止とする。
 - ④ 些細なことでも、選手に直接プレッシャーを掛けるような声掛けが認められた場合、当該試合の当該高校は応援を禁止とする。
 - ⑤ 技術的・戦術的な応援やその選手に直接アドバイスするような声掛け、またその声掛けに選手が反応するような場合はコーチングと認め、そのような応援をした者は当該試合の応援を禁止する。
 - ⑥ 1面全体を当該校1つで占拠することは禁止する。
 - ⑦ 部旗等はコート後ろには付けずコート端等試合中に目に入らないところに付けることとする。
 - ⑧ タオルや水筒等の選手の持ち物はすべてベンチに置くものとする。
 - ・ クラブハウスの使用禁止。
 - ・ コート以外でのボールを使った練習厳禁。
- (12) ・ 頭髪の加工やピアス等は出場を認めない（出場を辞退させる場合もある）。
- (13) プレーは連続して行われねばならない。プレーとプレーの間は25秒以内とする。
- (14) 会場内のマナーについて①ごみは各学校ですべて持ち帰ること。②クラブハウスは使用しないこと。③コート外ではトランプ等、テニスと関係のないゲームをしないこと。その他含めて、マナー面で悪質な場合、顧問を通して学校が責任をとること。

今大会はJTA公式トーナメント コードオブコンダクトに違反した場合1度目は警告2度目は失格とする。悪質な場合はレフェリーの判断により警告なしに失格とする。尚、一度警告・失格の措置を取られたものは今大会中は回復することはできない。